

CASBEE®-建築(新築) | 評価結果 |

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 | 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v2.1)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)ヒラノテクシード京都プロダク	階数	地上2F
建設地	京都府木津川市梅美台8丁目1番24	構造	S造
用途地域	都市計画区域内, 市街化区域, 準コ	平均居住人員	45 人
地域区分	5地域	年間使用時間	3,285 時間/年(想定値)
建物用途	事務所,工場,	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2019年9月 予定	評価の実施日	2018年9月3日
敷地面積	38,574 m ²	作成者	三谷誠一
建築面積	7,150 m ²	確認日	2018年9月3日
延床面積	8,613 m ²	確認者	松本真治



2-1 建築物の環境効率 (BEEランク&チャート)	2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)	2-3 大項目の評価(レーダーチャート)
<p>BEE = 0.9 ★★★★★</p>	<p>★☆☆☆☆</p>	

2-4 中項目の評価(バーチャート)		
Q 環境品質		
Q1 室内環境 Q1のスコア = 2.6 	Q2 サービス性能 Q2のスコア = 3.2 	Q3 室外環境 (敷地内) Q3のスコア = 3.3
LR 環境負荷低減性		
LR1 エネルギー LR1のスコア = 2.5 	LR2 資源・マテリアル LR2のスコア = 3.0 	LR3 敷地外環境 LR3のスコア = 2.7

3 設計上の配慮事項		
総合		その他
敷地内の空地を広く取り、車の出入りを容易に行える計画とした。山林等をそのまま残し、自然環境の維持に対しても考慮した。		特になし
Q1 室内環境	Q2 サービス性能	Q3 室外環境 (敷地内)
事務エリアには、トップライトや窓を適切に配置し、自然光を取り入れる計画とした。	リフレッシュスペース (2階ホール) に自販機置場を設置し、従業員が過ごしやすい空間となっている。	緑化に対して取り組んでいる。保樹林をそのまま残しており、自然環境を生かした計画としている。
LR1 エネルギー	LR2 資源・マテリアル	LR3 敷地外環境
基準値をとるようにしている。	構造を鉄骨造としており、柱梁、外壁等の分別が容易に行える。設備配管等を躯体に埋設していない為、取替え等容易に行うことができる。	敷地内の通路幅を広く取り、公道からの車の出入りがスムーズに行える計画とした。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2, LR1, LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される